

市長への「京田辺気候変動市民会議提言書」の提出に係る報告

京田辺気候変動市民会議で、再生可能エネルギー、移動、建物、地域経済循環（消費・食含む）の4つのテーマ、及び、横断的なテーマとして教育について、これまで4回にわたり議論され、市民目線でとりまとめられた「京田辺気候変動市民会議提言書」を、京田辺気候変動市民会議参加者から市長へ報告されました。

1. 日時：令和4年10月19日(水)16時

2. 出席者

○京田辺気候変動市民会議（※立会人）

森川さん（同志社大学理工学部2回生）、郡嶽委員長（京田辺市地球温暖化対策実行計画推進委員会）※

○京田辺市

上村市長、前川経済環境部長、藤井経済環境副部長、内藤環境課長、島田環境政策係長

3. 報告概要

①挨拶、京田辺気候変動市民会議概要説明

②市長への提言の報告

郡嶽委員長（京田辺市地球温暖化対策実行計画推進委員会）立ち合いのもと、京田辺気候変動市民会議参加者 森川さん（同志社大学理工学部2回生）より上村市長に提言書の報告を行いました。（写真1）

提言の内容については事務局から説明した後、数十分程度の懇談の時間を持ちました。（写真2）

森川さんからは、下記の通りご意見をいただきました。

・今回の市民会において、様々なご提案や意見が出た。また、今後もこの市民会議にて取り組みを実行していきたい。

また、郡嶽委員会からも、下記の通りご意見をいただきました。

・今回の会議は、フランスでの市民会議を取り入れ、日本ではまだ少ない試みであった。また、若者の参加や様々な貴重な提案が多く出たので、引き続きこの会議を継続し、今後は、実行的な会議体へとしていきたい。

・アメリカのデイビスの取り組みや、ブランドメーカーが供給をコントロールすることで環境やブランド価値を上げていることについて、今後の環境と経済の関わりが変化している。

これに対して、市長からは、下記の通りお話をしました。

・卒FIT後の再生可能エネルギーについて、市内でも多く可能性があると考えるため、どのようにすればゼロカーボンシティの実現に向けて有効な活用ができるか、市民会議や本市地球温暖化対策実行計画推進委員会の皆様や郡嶽委員長にご議論いただき良い方策を考えていただけないか。

・また、環境も経済も国内においても、ゼロカーボンを意識したものに変わってきているため、今後の未来を担う若者が、これから環境問題を進んで取り組んで行っていただきたい。森川さんに今後も関わっていただけるようお願いする。



写真1 市長へ提言書の報告



写真2 懇談会の様子